

令和7年4月17日

軟骨伝導イヤホンを長寿福祉課の窓口に設置

－多様な補聴支援により、円滑なコミュニケーションを支援します－

燕市は、高齢の方など聴覚に不安のある方の窓口対応をスムーズに行うため、4月1日から「集音器付き軟骨伝導イヤホン」を長寿福祉課の窓口に設置しました。従来のイラストや文字を利用した「コミュニケーション支援ボード」等に加え、高性能な最新機器を導入することで、聞こえづらさを感じている方が安心して窓口で説明を受けたり相談できたりする環境を整備し、市民サービスの向上に努めてまいります。

【軟骨伝導イヤホンとは】

耳付近の軟骨を振動させて音を伝えます。従来から知られている気導・骨導（骨伝導）とは異なる仕組みのため「第3の聴覚経路」とも呼ばれています。

◆特長◆

- ・集音器と一緒にイヤホンを耳に軽く当てるだけで、相手の声が聞き取りやすくなります。
- ・音漏れしにくく、大きな声での会話も必要なくなるため、個人情報や周囲に聞かれてしまうリスクを軽減することができます。



▲軟骨伝導イヤホン

【設置場所】

燕市役所 長寿福祉課 28 番窓口

※4月1日（火）から1機稼働中。※今後も庁内窓口を増設を予定。

【その他の補聴支援】

- ・コミュニケーション支援ボード：
イラストや文字を指さすことで、視覚的に意思疎通を図ります。言葉でのコミュニケーションが困難な場合にも活用可能です。
- ・磁気ループ：
マイクを通した音声を補聴器や人工内耳に伝えるシステムです。周囲の騒がしい場所でも、目的の音・声をクリアに聞くことができ、ざわついた窓口で相手の声が聞き取れないなどの悩みが軽減されます。



▲コミュニケーション支援ボード



▲磁気ループ



本件についてのお問い合わせ先
健康福祉部 長寿福祉課：沼田
電話：0256-77-8175